



＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

今年も最後の月になりました。12月を「師走」と言います。師は先生を指すことありますが、ここでは、お坊さんが年末に家々でお経をあげる行事が多いため、忙しく走り回っている姿を表しているそうです。忙しいは、心を亡くすと書きます。忙しくても、心にゆとりを持っていたいですね。



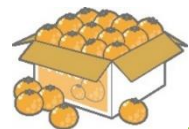
全校で能楽を鑑賞しました。体育館に立派な能舞台が作られ、能楽師の人たちが謡や囃子、能の道具を使った体験をさせていただきました。その後、「小鍛冶」を公演していただきました。直に触れる本物は、迫力がありますね。



なかよし班給食を行いました。これは代表委員会で提案された人権週間の取組の一つです。学級で配膳した給食を持って移動する時には、上級生が優しい気遣いをしてくれました。おいしく、楽しく食べることができました。



5年生が上浦の選果場と、今治市内の産直市を見学しました。どちらもたくさんのみかんが並んでいました。前回のみかん農家の見学と合わせ、みかんを作っている人（生産者）から、買って食べる人（消費者）に届く仕組みがよくわかりました。



戦国時代、甲斐の国（今の山梨県）に武田信玄という武将がいました。「一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつげが出る。」という言葉を残しています。例えば掃除の時間。いい加減だと「時間がないから、少しくらいごみが残ってもいいや」と言いつげが出ます。中途半端だと「あ～めんどろだな」と愚痴が出ます。一生懸命だと時間内に隅から隅まできれいにする方法を考えます。皆さんはどのやり方がいいと思いますか。一生懸命になると、きっといろいろないいアイデアが浮かんできますよ。

